

音楽 2 学年

◇学年目標

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

年間計画

題 材 名	教 材	時間	目 標
① 曲想の変化の理解と表現の工夫及び指揮をしてみよう	「浜辺の歌」 拍子について	3	曲の構成や曲想の変化や複合拍子を感じ取って歌おう。
②アルトリコーダーの響きに親しもう。	・「エーデルワイス」 ・「あわてんぼうのサンタクロース」	4	アルトリコーダーの音色の響きを感じ取りながら演奏しよう。
③ クラス選択の合唱曲		7	他の声部のメロディを感じ取り、より豊かなハーモニーで合唱しよう
④歌詞の内容を味わって歌おう（歌唱）	「花の街」 「早春賦」	3	○言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫する。曲のもつ情緒を味わい、それを支える○音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、歌唱表現を工夫する。
⑤声部の役割を意識して表現を工夫しよう（歌唱）	「夢は大空を駆ける」	3	・速度や強弱の変化を生かし、声部の役割を意識して表現を工夫しよう。。
⑥曲の仕組みを理解して聴こう（鑑賞） オーケストラの名曲を味わおう（鑑賞）	「小フーガト短調」 「交響曲第五番ハ短調」 「シェーラザード」など	5	・オーケストラが生み出す豊かな表現を味わう能力を育てる。 ・音楽と他の芸術との関わりを感じ取りながら総合的に理解して楽しむ。

⑦日本の音楽に親しもう（鑑賞）	雅楽「越天楽」、 歌舞伎「勧進帳」 など	4	雅楽や歌舞伎の魅力やよさを味わい、我が国の伝統音楽に親しむ心情を養う。
⑧より大きなステージで歌う力をつけよう～奈良市立合同音楽会や卒業式に向けて～	・音楽会の合唱曲 ・卒業式の歌	6	・行事への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。・詩情を感じ取りながら、感動的で心に残る音楽表現ができるようにする。

時間数はあくまでも目安です。いくつかの単元を組み合わせながら授業を進めていきます。

教科の先生からのアドバイス

- ・ 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようにセットしておきましょう。
- ・ 成績は定期テストだけでは決まりません。日々の態度や、ワークシートの内容、歌・リコーダーの技能テスト、鑑賞文など様々なものが評価の対象です。

①音楽への関心・意欲・態度

- ・ 持ち物忘れ、提出物の状況
- ・ 学習全体への関心、活動への参加状況
- ・ 知識、理解の様子（定期テスト含む）

②音楽表現の創意工夫

- ・ 音楽を形作る様々な要素を支えとして音楽表現を工夫する。
- ・ 曲の形式や諸記号、音符や構成などの理解度（定期テスト含む）

③表現活動の技能

- ・ 歌詞の内容や曲想をいかした音楽表現をするための発声や技能を身につけている
- ・ 読譜力や基本的な技能などの理解度（定期テスト含む）

④鑑賞の能力

- ・ 楽曲の特徴を理解し、音楽を形作っている要素が生み出す雰囲気を感じている。
- ・ 言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。
(授業中の発言やワークの内容、定期テストなど)

おわりに

中学生の君たちは、男子も女子も変声期にあり、うまく歌えなかったり恥ずかしかったりするものです。

それをカバーするのは学級の雰囲気です。仲間を思う気持ちを大切にできるクラスであってほしいと思います。